

令和 2 年度第 1 回技術運営会議 議事次第 (抜粋)

日 時 7 月 14 日(火) 13:00-15:00

場 所 BLCJ 会議室(建築保全センター会議室)

参加者 別紙による

参加方法 出席または Teams による Web 参加

議 題

1. PRISM2019 の概要報告およびその課題整理について
2. 各部会の 2020 年度活動計画について
3. 各部会の 2020 年度予算について
4. 外部部会等との連携について
5. 情報化委員会、システム開発者選定委員会の設置について
6. その他

資 料

- 資料 1 「PRISM2019 の概要報告-BIM オブジェクトライブラリの拡充と法適合判定に必要な情報連携手法の開発」
- 資料 2 各部会の活動計画
- 資料 3 2020 年度各部会予算(第 1 次)
- 資料 4 部会等との連携について
- 資料 5 情報化委員会、システム開発者選定委員会設置要領

参考資料 1 技術運営委員会名簿

参考資料 2 組織細則

参考資料 3 会員名簿

参考資料 4 年間スケジュール

事務局担当	寺本
部会の活動目標 [目標はスケジュールの活動目標 記載]	(1)将来計画も含めた目標・機能・利用形態・事業スケジュール公表 (2)BLCJ 標準によるオブジェクトを掲載したライブラリの開発者選定 (3)BIM ライブラリ構築に着手(今年度はシステム設計) (4)モニタリング手法などの検討
活動目標(1)の具 体的な取り組み	<u>概要、ポイント、課題等：</u> ・ BLCJ の果たすべき役割を踏まえ、利用形態、ビジネスモデルと収 支、運用体制、ライブラリ機能の確定[1 期と 2 期]を検討し公表 <u>担当 WG、連携する内部部会/WG、連携する外部部会：</u> ・ 担当：ビジネスモデル WG、ライブラリ WG、情報化委員会 ・ 連携：全部会 <u>委託の有無等：</u> ・ 委託なし、情報化委員会(タスクフォース)を新設し、BIM・標準等 の将来展望を検討
活動目標(2)の具 体的な取り組み	<u>概要、ポイント、課題等：</u> ・ 開発者選定に先立ち BIM ライブラリ・標準のユースケースの明確 化、BIM ソフトウェアベンダー・メーカー等との協議 ・ 情報化委員会で具体的な評価基準・選定を行い理事会に報告 <u>担当 WG、連携する内部部会/WG、連携する外部部会：</u> ・ 担当：情報化委員会、ライブラリ WG <u>委託の有無等：</u> ・ 無し
活動目標(3)の具 体的な取り組み	<u>概要、ポイント、課題等：</u> ・ 2020 年 12 月にライブラリ設計着手(運用開始は 2021 年秋を想定) <u>担当 WG、連携する内部部会/WG、連携する外部部会：</u> ・ 担当：ライブラリ WG ・ 連携：情報化委員会、全部会 <u>委託の有無等：</u> ・ システム開発とアドバイザーを委託予定
活動目標(4)の具 体的な取り組み	<u>概要、ポイント、課題等：</u> ・ モニタリング手法、体制等の検討 <u>担当 WG、連携する内部部会/WG、連携する外部部会：</u> ・ 担当：モニタリング WG ・ 連携：運用部会 <u>委託の有無等：</u> ・ 無し
その他	

各部会の 2020 年度事業計画詳細・総括表(案) 部会名 【建築部会】

事務局担当	鬼頭・福島
部会の活動目標 [目標はスケジュールの活動目標記載]	(1)建築 BIM 推進会議のワークフロー・データフローに整合した BLCJ の対応範囲の検討・整理 (2) ワークフローのアウトプット目標に見合った属性情報の整理、それらの項目を検討する方法の整理 (3) 上記の見直された標準を活用するためのデータ類の検討（インポータ、パラメータ設定ファイル、サンプルモデル・テンプレート、など）
活動目標(1)の具体的な取り組み	<p>概要、ポイント、課題等：BLCJ の対応範囲を明確化する 目標：仕様連携システムの構想と利用イメージの取りまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 2019 年度 PRISM 成果の検証を実施し、標準ワークフロー・データフローに見合った属性の利活用の整理やインポータの実践的な活用の流れを提案（営繕の実証試験も想定して対応） 設計のデータ入力フロー、ユーザー視点での属性情報と積算や仕様書のつなぎ方の提案、スペースオブジェクトの活用を検討 建築仕様連携システムの利用イメージを検討 <p>担当 WG、連携する BLCJ 部会/WG、連携する外部部会：</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築部会コアメンバー、設備部会コアメンバー、連携部会 建築 BIM 推進会議：部会 1、部会 3、部会 4、設計三会 <p>委託の有無(ある場合は、内容と概算金額)：</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託なし、コア会議 6 回
活動目標(2)の具体的な取り組み	<p>概要、ポイント、課題等：BLCJ 標準の利用場面を明示する 目標：パラメータの共通化と実装の仕方を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> BLCJ 標準が守備するアウトプットの明確化（建具表、仕上げ表、確認申請のどの図面、積算に出力する内容など） BLCJ パラメータと BIM ソフトが元々有しているパラメータとの重複などを整理 BLCJ パラメータを入力するプロパティグループ、データの型、IFC 入出力との関係などを定義 BLCJ パラメータと建築 BIM 推進会議ワークフローの各ステージとの対応を検討 上記の検討結果を「(仮称) オブジェクト属性シート」に整理して公表 <p>担当 WG、連携する BLCJ 部会/WG、連携する外部部会：</p> <ul style="list-style-type: none"> 設備部会、bSJ、ソフトベンダー、RUG など

	<p>委託の有無(ある場合は、内容と概算金額)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委託なし、WG6回
活動目標(3)の具体的な取り組み	<p>概要、ポイント、課題等：BLCJ 標準を活用するためのデータ類の検討</p> <p>目標：ベンダーやサードパーティも含めた BIM の活用に関する構想の取りまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共有パラメータの活用を関係部会や団体に例示するためのデータ（サンプルモデル、テンプレート、2019 年度 Revit ファミリの改善など）作成 ・ BLCJ 標準の利用環境を整備するための体制づくりへの働きかけ（ベンダーの協力要請など） <p>担当 WG、連携する BLCJ 部会/WG、連携する外部部会：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築部会全 WG、設備部会、bSJ、ソフトベンダーなど <p>委託の有無(ある場合は、内容と概算金額)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 例示用データ（サンプルモデルやテンプレート）の作成：200万円、WG4回 ・
その他	<p>PRISM で予算を確保できるならば下記の内容を追加する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パラメータ追加インポータの改良（ARCHICAD、Revit）：500万円（Revit 用のインポータ改良については設備部会との関係を視野に入れる） ・

各部会の 2020 年度事業計画詳細・総括表(案) 部会名 【設備部会】

事務局担当	山 中
部会の活動目標 [目標はスケジュールの活動目標記載]	(1)ワークフローに整合した実用的な形状・属性情報標準の見直し (2)上記の見直された標準に基づくオブジェクトの作成 (3)ジェネリックオブジェクトの充足度、属性情報の過不足、円滑な連携に必要なソフトウェアの調査
活動目標(1)の具体的な取り組み	<p>概要、ポイント、課題等：</p> <p>ワークフローのシミュレーションすなわち実例による確認を行い、形状・属性情報の過不足を明らかにする。参加企業有志・ワーキングあるいは委託により実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中分類まで整理された属性情報を個別機器まで拡張 →例：EHP/GHP 等 ・ 設計段階でのジェネリック obj/メーカーobj、施工段階でのジェネリック obj/メーカーobj での推奨する入力範囲の確定 →設備 CAD ソフトでの対応+情報のみ授受の 2 本立てが必要か ・ 電気設備（強電系）は配線器具等不足分を追加 ・ 電気設備（弱電系）は未着手。 →具体的に詰めるには、電気 SC、電機メーカー要参画 ・ 空調設備も不足分を追加 <p>担当 WG、連携する BLCJ 部会/WG、連携する外部部会：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機械設備オブジェクト作成 WG/電気設備オブジェクト作成 WG
活動目標(2)の具体的な取り組み	<p>概要、ポイント、課題等：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ BLCJ 仕様での obj 作成に限定して整備 ・ 優先順位を事務所ビルとし、その後、別建物用途へ展開 ・ BLCJ 仕様の DB (IDX 他) 整備 <p>担当 WG、連携する BLCJ 部会/WG、連携する外部部会：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機械設備オブジェクト作成 WG/電気設備オブジェクト作成 WG
活動目標(3)の具体的な取り組み	<p>概要、ポイント、課題等：</p> <p>具体的なソフトウェア候補を挙げ、(1)と同様に実例による確認を行い、形状・属性情報の過不足を明らかにする。参加企業有志・ワーキングあるいは委託により実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジェネリック obj 不足分の提示

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携ソフトの考え方整理（設備 CAD ベース） ・ 共有パラメータの考え方の整理（コード化） ・ 維持管理へ連携するための属性情報設定 ・ ユースケースの提示（ユーザーズガイド作成） <p>担当 WG、連携する BLCJ 部会/WG、連携する外部部会：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機械設備オブジェクト作成 WG/電気設備オブジェクト作成 WG
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備WG/BE-BridgeWG ・ 建築部会
BLCJ の他の部会との調整事項/ BLCJ 以外との調整・連携事項/ その他	<p>建築部会とオーバーラップするオブジェクト，ならびに維持管理運用に関する考え方について調整する。</p> <p>空気調和・衛生工学会，JFMA など関連する学協会との情報共有・意見交換を行う。</p>

活動目標の具体的な取り組み

- 1-1)個別機器を含んだ BLCJ 仕様表の作成 (機械設備)
 →PRISM での意見を反映
 ・ 設備 WG+機械設備オブジェクト作成 WG
 ・ 合同 WG 3Week ごとに開催 7 月末提示
 (追加例: GHP/EHP の違い)
- 1-2)個別機器を含んだ BLCJ 仕様表の作成 (電気設備: 既存)
 →BLCJ 仕様 Ver1 に含まれる電気機器の属性情報を再整備 (PRISM 意見を反映)
 ・ 設備 WG+電気設備オブジェクト作成 WG
 ・ 合同 WG 3Week ごとに開催 7 月末提示
- 1-3)個別機器を含んだ BLCJ 仕様表の作成 (電気設備: 弱電他)
 →BLCJ 仕様 Ver1 に含まれない電気機器分の属性情報を新規整備
 ・ 設備 WG+電気設備オブジェクト作成 WG
 ・ 合同 WG 3Week ごとに開催 9 月末提示
- 1-4)維持管理やコミショニングの項目を追加した BLCJ 仕様表の作成 (FM 他)
 →BLCJ 仕様 ver1 に含まれない FM 等の属性情報を新規整備
 ・ 設備 WG+機械設備オブジェクト作成 WG+電気設備オブジェクト作成 WG
 ・ 合同 WG 3 Week ごとに開催 11 月末提示
- 1-5) ジェネリック obj/メーカーobj が持つべき属性情報の必須/推奨の確定
 →BLCJ 仕様 Ver2 に策定
 設計段階 → 施工段階 → 維持管理段階
 2020.7 末 2020.10 末 2021.2 末
 ・ 設備 WG+機械設備オブジェクト作成 WG+電気設備オブジェクト作成 WG
 ・ 合同 WG 3Week ごとに開催 段階的に提示
- 2-1)BLCJ 仕様 Ver 1 に含まれる範囲に限定してジェネリック obj 整備
 →PRISM での要望事項を反映したジェネリック obj 整備
 2020.7 末で確定した属性情報をセット (形状は変えない。)
 2020.8 末リリース
 ・ 機械設備オブジェクト作成 WG+電気設備オブジェクト作成 WG
 ・ 合同 WG 3Week ごとに開催
- 2-2) BLCJ 仕様 Ver2 でのジェネリック obj 整備
 →BLCJ 仕様 Ver2 で拡充された対象を含みジェネリック obj を整備
 BLCJ 仕様 Ver2 策定 (2020 末) 後着手
 ・ 機械設備オブジェクト作成 WG+電気設備オブジェクト作成 WG
 ・ 合同 WG 4Week ごとに開催 (2021.1 から開始)

2-3) 適用建物用途の拡充（空調：セントラル分の整備対象を拡充）

→整備対象の整理後

- ・設備 WG+機械設備オブジェクト作成 WG
- ・合同 WG 6Week ごとに開催（2020.9 から開始）

3-1) 連携ソフトの考え方整理（設備 CAD ベース）

→建築アドインの考え方を確認後、検討

→記述言語の変更検討（IDX→xml 記述）

3-2) 共有パラメータの考え方の整理（コード化）

→BLCJ 各種コード/仕様属性と Revit 共有パラメーター（GUID）の整合確認

- ・設備 WG+機械設備オブジェクト作成 WG+電気設備オブジェクト作成 WG+BE-BridgeWG
- ・合同 WG 8Week ごとに開催（2020.7 開始予定）

3-3) 維持管理へ連携するための属性情報設定（2020.12 には仮案）

→BLCJ 仕様 Ver 1 を元にして、ユーザー団体（JFMA）へ検討依頼

- ・設備 WG+機械設備オブジェクト作成 WG+電気設備オブジェクト作成 WG+BE-BridgeWG
- ・合同 WG 6Week ごとに開催（委託先決定後、開始）

3-4) ユースケースの想定（ユーザーズガイド：効果ある使い方）

→BLCJ 仕様で作成された obj をフェーズごとに効果的に使うためには、
どういう運用がいいのかをまとめた資料を作成し、ユーザーズガイドとする。

- ・設備 WG
- ・合同 WG 4Week ごとに開催

【要望他】

- ・BLCJ 仕様 Ver1 もしくは Ver2 の公開とライブラリとして公開された obj をユーザーが使っている BIM ソフトで使えることとは別であることを BLCJ として、丁寧に説明してほしい。
→BLCJ 仕様で作成された obj が BIM ソフトで使えるかはベンダーの製品戦略による
ところが「大」
→BLCJ 仕様 Ver1 の設備 obj も現時点で全設備 CAD で読めるわけではない。
- ・ライブラリとして、obj が公開され、自分が使いたい obj がラインナップされていないと使えないと判断される。
→ジェネリック obj をいくつかラインナップしておくのかの議論が必要
- ・BLCJ 仕様は、メーカーにメーカーobj を作成してもらうためのバイブルの位置づけ

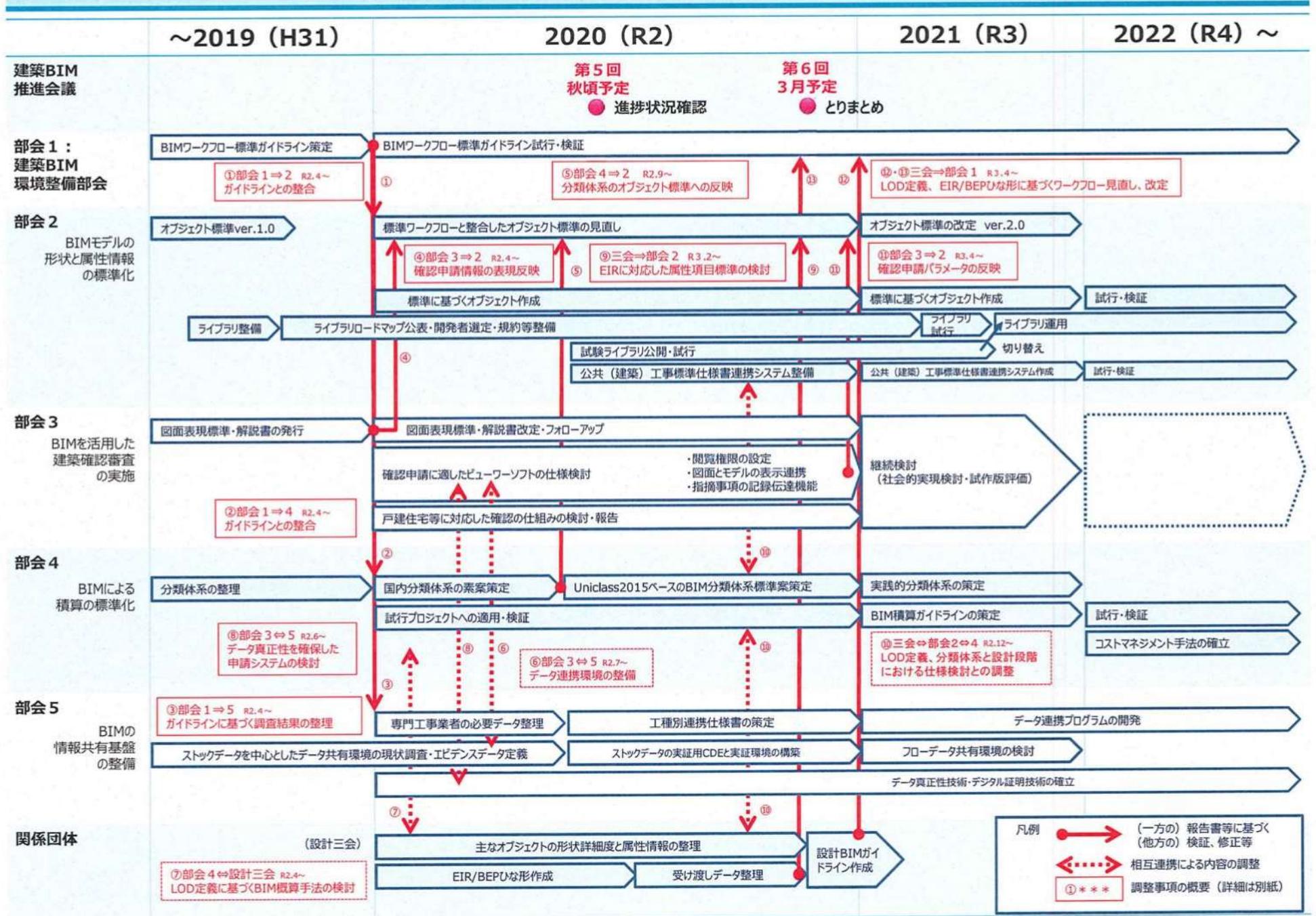
各部会の 2020 年度事業計画詳細・総括表(案) 部会名 【運用部会】

事務局担当	渋谷
部会の活動目標 [目標はスケジュール の活動目標記載]	(1)ライブラリの開発に必要な規約整備 (2)ライブラリの運用・モニタリングに必要な規約整備 (3)知的財産権の取り扱いに関する整理
活動目標(1)の具体的 な取り組み	概要、ポイント、課題等： ・「BIM ライブラリ構築・運用契約」の確定（2020年5月～2020年9月） 2020年10月に予定される BIM ライブラリのシステム開発会社の選定および開発開始に向け、2019年度までに作成した「BIM ライブラリ構築・運用契約」を現況に即して見直し、確定する。 担当 WG、連携する BLCJ 部会/WG、連携する外部部会： ・担当：運用部会全体 ・連携：在り方部会（ライブラリWG） 委託の有無(ある場合は、内容と概算金額)：あり ・規約の確定のため弁護士事務所への委託
活動目標(2)の具体的 な取り組み	概要、ポイント、課題等： ・「基本規約事項」、「BIM オブジェクト利用規約」、「BIM オブジェクト提供契約」、「BIM オブジェクト作成・利用契約」の4規約について、試行プロジェクトにおける試行・検証（2020年10月～2021年2月） 担当 WG、連携する BLCJ 部会/WG、連携する外部部会： ・担当：運用部会全体・モニタリングWG ・連携：在り方部会（ライブラリWG・ビジネスモデルWG） 委託の有無(ある場合は、内容と概算金額)：無し (謝金・交通費・事務費用別途)
活動目標(3)の具体的 な取り組み	概要、ポイント、課題等： ・証明書・改竄防止等の技術的手法、各種 BIM ソフトとの連携可能性の整理など（2020年度内） 担当 WG、連携する BLCJ 部会/WG、連携する外部部会： ・担当：運用部会全体・モニタリングWG ・連携：在り方部会・連携部会 委託の有無(ある場合は、内容と概算金額)：無し (謝金・交通費・事務費用別途)
その他	・課題： ビジネスモデルの具体化 IT 関連の技術的課題の整理、有識者ヒアリング

各部会の 2020 年度事業計画詳細・総括表(案) 部会名 【連携部会】

事務局担当	堀(寺本)
部会の活動目標 [目標はスケジュールの活動目標記載]	(1)建築確認との連携の検討 (2)標準仕様書との連携の検討 (3)分類コードとの連携の検討
活動目標(1)の具体的な取り組み	<p><u>概要、ポイント、課題等：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築確認におけるオブジェクトレベルでの情報の流れを確認 ・ 建築確認業務と整合した BIM オブジェクトの属性情報、図記号表現パラメータの検討等及び必要に応じて属性情報の追加の検討 ・ 「1 時間耐火構造の壁」を満足する「認定製品等」との関連付けを整理 ・ BLCJ のデータ構築に適した確認図面表現標準を提案 <p><u>担当 WG、連携する内部部会/WG、連携する外部部会：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当 建築確認 WG ・ 連携部会 建築部会、設備部会、部会 3 (日本建築センター) <p>確認図面の表現標準および解説書に基づき、オブジェクト標準の見直し、改定の検討のため緊密な情報交換等の実施</p> <p><u>委託の有無等：</u></p> <p>なし</p>
活動目標(2)の具体的な取り組み	<p><u>概要、ポイント、課題等：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NBS Chorus の調査検討を踏まえて BIM 属性情報の的確な検索が可能となるよう公共建築工事標準仕様書の編集方法や属性情報記載方法の検討 <p><u>担当 WG、連携する内部部会/WG、連携する外部部会：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕様情報 WG、建築部会、設備部会 <p><u>委託の有無等：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NBS Chorus の調査検討 ・ 電子化に対応した公共建築工事仕様書の編集
活動目標(3)の具体的な取り組み	<p><u>概要、ポイント、課題等：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Uniclass2015 ベースの BIM 分類体系標準案をオブジェクト標準の反映、BIM オブジェクトライブラリデータ構築に適した分類体系を提案 <p><u>担当 WG、連携する内部部会/WG、連携する外部部会：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 担当 仕様情報 WG ・ 連携部会 部会 4 (日本建築積算協会) <p>的確に分類体系の検討内容をオブジェクト標準に反映させるため、緊密な情報交換等の実施</p> <p><u>委託の有無等：</u></p> <p>なし</p>
その他	

建築BIM推進会議 部会連携のスケジュール(令和2年6月時点)



建築BIM推進会議 部会連携のスケジュール(令和2年6月時点)

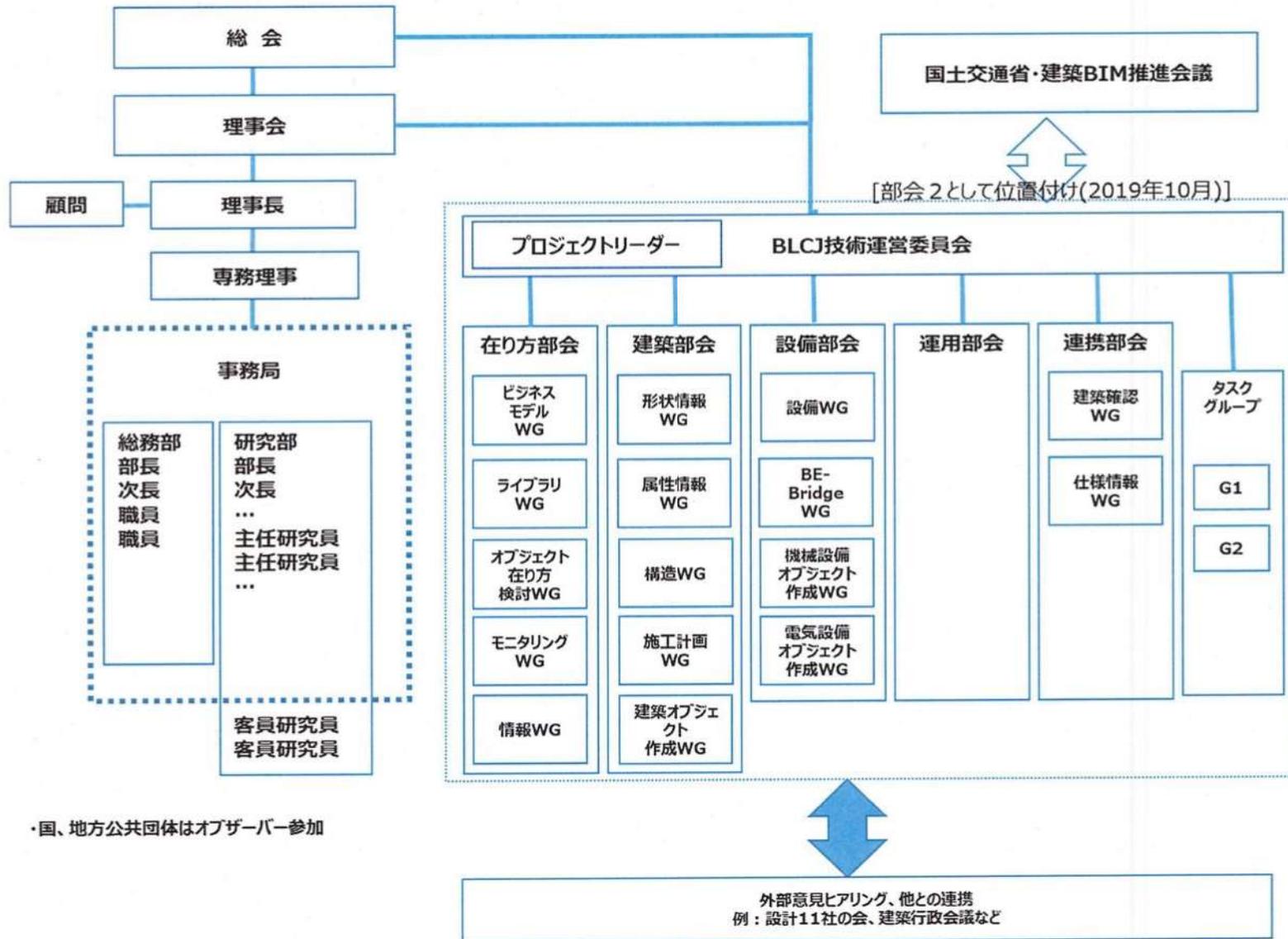
項目	内容	対応者	想定対応時期
①部会1⇒2 ガイドラインとの整合	建築分野におけるBIMの標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン(第1版)(以下、BIMガイドライン)との整合を図り、オブジェクト標準の見直しを行う。	部会2	2020(R2).4~
②部会1⇒4 ガイドラインとの整合	BIMガイドラインとの整合を図り、分類体系の見直しを行う。	部会4	2020(R2).4~
③部会1⇒5 ガイドラインに基づく調査結果の整理	BIMガイドラインの内容に基づき、調査結果の整理を行う。	部会5	2020(R2).4~
④部会3⇒2 確認申請情報の表現反映	確認図面の表現標準および解説書に基づき、オブジェクト標準の見直し、改定を行う。	部会2	2020(R2).4~
⑤部会4⇒2 分類体系のオブジェクト標準への反映	分類体系の検討内容をオブジェクト標準に反映する。	部会2	2020(R2).9~
⑥部会3⇔5 データ連携環境の整備	確認申請におけるデータ連携環境について、要望事項と技術的課題を整理し、対応方針の策定を行う。	部会3・5	2020(R2).7~
⑦部会4⇔設計三会 LOD定義に基づくBIM概算手法の検討	基本計画、基本設計のステージで概算精度を高めるためのBIMデータの形状と情報に対する役割と責任の整理	部会4・三会	2020(R2).4~
⑧部会3⇔5 データ真正性を確保した申請システムの検討	⑥に関連し、データ連携環境の構築とともに、データの真正性を確保した申請システムについて検討する。	部会3・5	2020(R2).6~
⑨三会⇒部会2 EIRに対応した属性項目標準の検討	EIRとBEPのひな型に対応した属性項目をオブジェクト標準に反映する。	部会2	2021(R3).2~
⑩三会⇔部会5⇔4 LOD定義、分類体系と設計段階における仕様検討との調整	設計段階における形状詳細度と属性情報量の段階的な定義について整理する。	部会4・5・三会	2020(R2).12~
⑪部会3⇒2 確認申請パラメータの反映	確認申請ビューワに表現するパラメータをオブジェクト標準の標準パラメータに追加する。	部会2	2021(R3).4~
⑫三会⇒部会1 LOD定義に基づくワークフロー見直し、改定	BIM標準ワークフローのステージ毎での形状詳細度、属性情報量の検討内容に基づき、BIMの標準ワークフローの見直し、BIMガイドラインの改定を行う。	部会1	2021(R3).4~
⑬三会⇒部会1 EIR/BEPひな形に基づくワークフロー見直し、改定	EIR/BEPひな形に基づき、BIMの標準ワークフローの見直し、BIMガイドラインの改定を行う。	部会1	2021(R3).4~

部会2 BIMライブラリ技術研究組合(BLCJ)の2020年度活動予定

活動内容	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	担当〇、関係部会
【部会2】 □技術運営委員会 1.オブジェクト標準 [S0~S7に対応した標準の見直し] [実務的観点、その他から] 2.標準に基づくオブジェクト作成 [オブジェクト拡充・確定] [既存オブジェクトの活用検討] 3.ライブラリ整備 [建築の配信検討、画面設計等] [開発者選定と設計段階] 4.試験ライブラリ公開 [設備先行、建築は11月に一部] 5.公共工事標準仕様書との連携 [ワークフローの把握、システム化] ○将来像の検討 [年度内の公表を予定] ○建築確認との連携 [ワークフローの把握、表示記号]		7/14 建(7月)・9月 設 7月末、9月 JASCA、RUG、日建連、建築保全C、JFMA、メーカー団体などと協働作業	11月 11月	3月上 1月・3月 1月・3月	全部会参加 ○建築、○設備 在り方、連携 ○建築、○設備
		8/27	10/27・12/22	2/25	○在り方、建築、設備、運用、連携 ○開発者選定委員会
		7月末、9月	11月		○設備、建築、事務局
		8/28	10/30・12/18	2/26	○連携、建築、設備
		8月	11月	2月	○情報化、在り方
		8/28	10/30・12/18	2/26	○連携、建築、設備
【他の部会との連携】 ○部会3 [確認申請情報の反映] ○部会4 [分類体系をオブジェクト標準へ反映] ○部会5 ○設計三会 [EIR対応、確認審査パラメータ反映]		建築確認 EIR 建築確認	建築確認 EIR 建築確認	建築確認 EIR EIRフィードバック	

注： 建築部会、設備部会は原則奇数月。在り方部会、運用部会、連携部会は原則偶数月。部会までに2~4回のWG開催。情報化委員会は3か月ごと

各部会の役割



各部会等の活動

□技術運営委員会

技術に関する課題を総合的に検討し、各部会に共通する重要な事項について決定

□在り方部会

BIMライブラリのビジネスモデル、ライブラリの構築、オブジェクトの在り方、モニタリングに関する検討及びBIMに関する最新の情報交流を行う。

[2020活動目標]①将来像・事業スケジュール等の公表、②開発者選定、③ライブラリシステム設計、④モニタリング手法の検討

□建築部会

BIMライブラリ標準(BLCJ標準)のうち建築領域の(ELV、ユニット製品を含む)の作成、改訂及び同標準に基づく建築領域のオブジェクトの作成

[2020活動目標]①ワークフロー等に対応したBLCJ標準の整理、②ワークフローに対応した属性情報整理、③インポータ、パラメータ設定、サンプルモデル、テンプレートなどの整理

□設備部会

BIMライブラリ標準(BLCJ標準)のうち機械設備領域、電気設備領域の作成、改訂、同標準に基づく機械設備領域、電気設備領域のオブジェクトの作成及びBE-Bridge仕様の改訂、活用

[2020活動目標]①ワークフローに整合した形状・属性情報の見直し、②①によるオブジェクト整備、③ジェネリックオブジェクトの充足度、属性情報の過不足、円滑な連携に必要なソフトウェアの調査

□運用部会

BIMライブラリの運用に関する各種基準の作成及びBIMオブジェクトの知的財産権等に関する検討

[2020活動目標]①規約整備、②知的財産権の取り扱いの検討

□連携部会

建築確認申請プロセスにおけるBIMオブジェクト連携に関する検討・整理、BIMライブラリ標準(BLCJ標準)に基づくBIMオブジェクトと仕様情報との連携に関する検討・整理及びBIMライブラリ標準に基づくオブジェクトの実プロジェクトでの試行検討

[2020活動目標]①建築確認殿連携の検討、②標準仕様書との連携の検討、③分類コードとの連携の検討

□情報化委員会(TG)：BIMと周辺領域との連携に関する将来像の検討を行う。

□開発者選定委員会(TG)：BIMライブラリ開発者の選定を行う。